

# 明治以降の習志野原 ◆◆◆陸軍演習場 -明治6年(1873)~昭和20年(1945)- ◆◆◆



1873年(明治6年)4月29日から2日間に渡り明治天皇は近衛兵を率いて千葉県下総大田原(当時の地名)へ行幸された。  
聖徳記念絵画館 壁画「習志野之原演習行幸」より

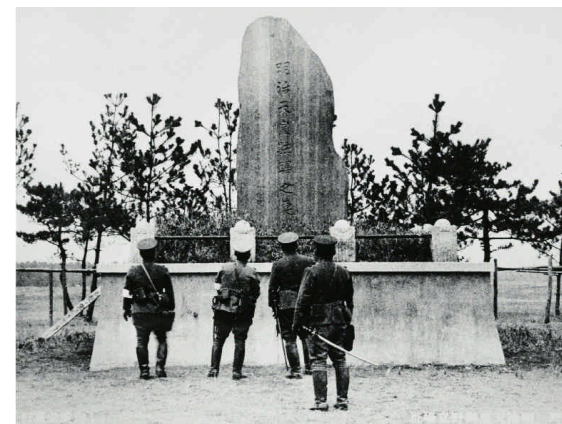
富国強兵の元、世界の列強国へ追いつくべく、軍事力強化の道を選んだ維新後の日本。明治天皇は自ら指揮をして、この地で大規模な軍事演習を行った。そしてこの地を『習志野原』と命名し、陸軍の演習場とするよう命じた。その後72年間演習場として、また軍関係の施設が周辺に多数建設され『軍郷習志野』として発展していった。

天皇がお供をお連れになって出かけることを『行幸』または『御幸』という。現在の習志野台4丁目に『御幸台』と呼ばれた場所があり、そこに明治天皇行幸記念として大正6年に建立された『明治天皇駐蹕之處』と刻まれた石碑があった。昭和6年には土台がコンクリートで築かれ、平成6年まで現在のみゆき町会の会館がある場所にあった。会館建設に伴い、薬円台公園に移設。なお、町会名の『みゆき』は『御幸台』から由来している。 \* 偶然にも元号の変わる6年の年に石碑に変化がある。

## 『明治天皇駐蹕之處』の碑



大正6年建立



昭和6年土台がコンクリートに



昭和28年頃



平成6年(移設前)



現在のみゆき町会の会館。矢印の位置に石碑が建っていた。  
左の写真は会館が建つ前の写真、電柱の位置は変わっていない。  
右の写真は薬円台公園に移設された石碑。大きな石碑であるため移設は大変だったそうである。



《明治時代の地図》